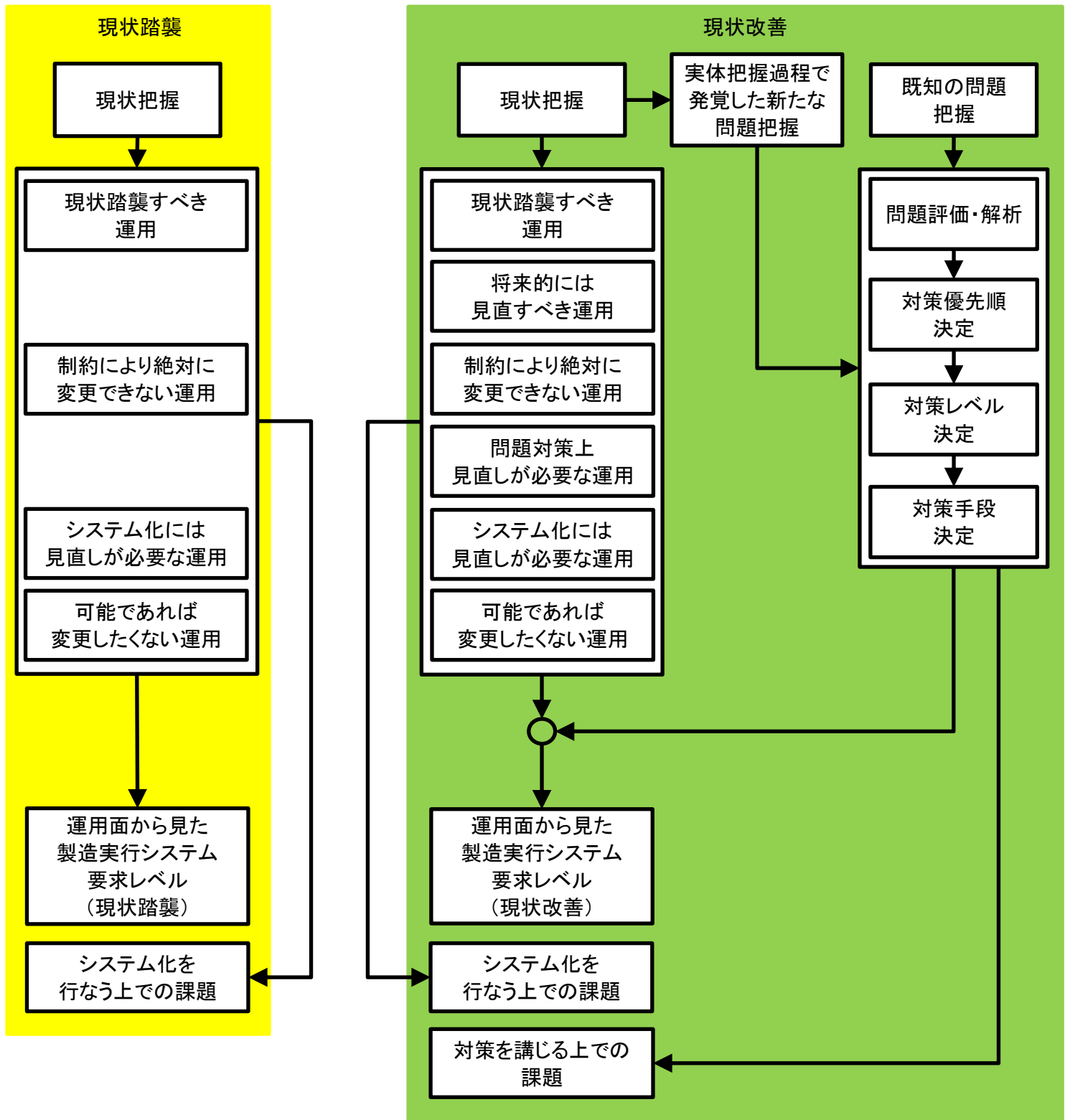


システム導入目的はユーザの状況によって異なるが、いずれの場合においても、現状把握は重要であり、以下の2パターンを下図に示す。

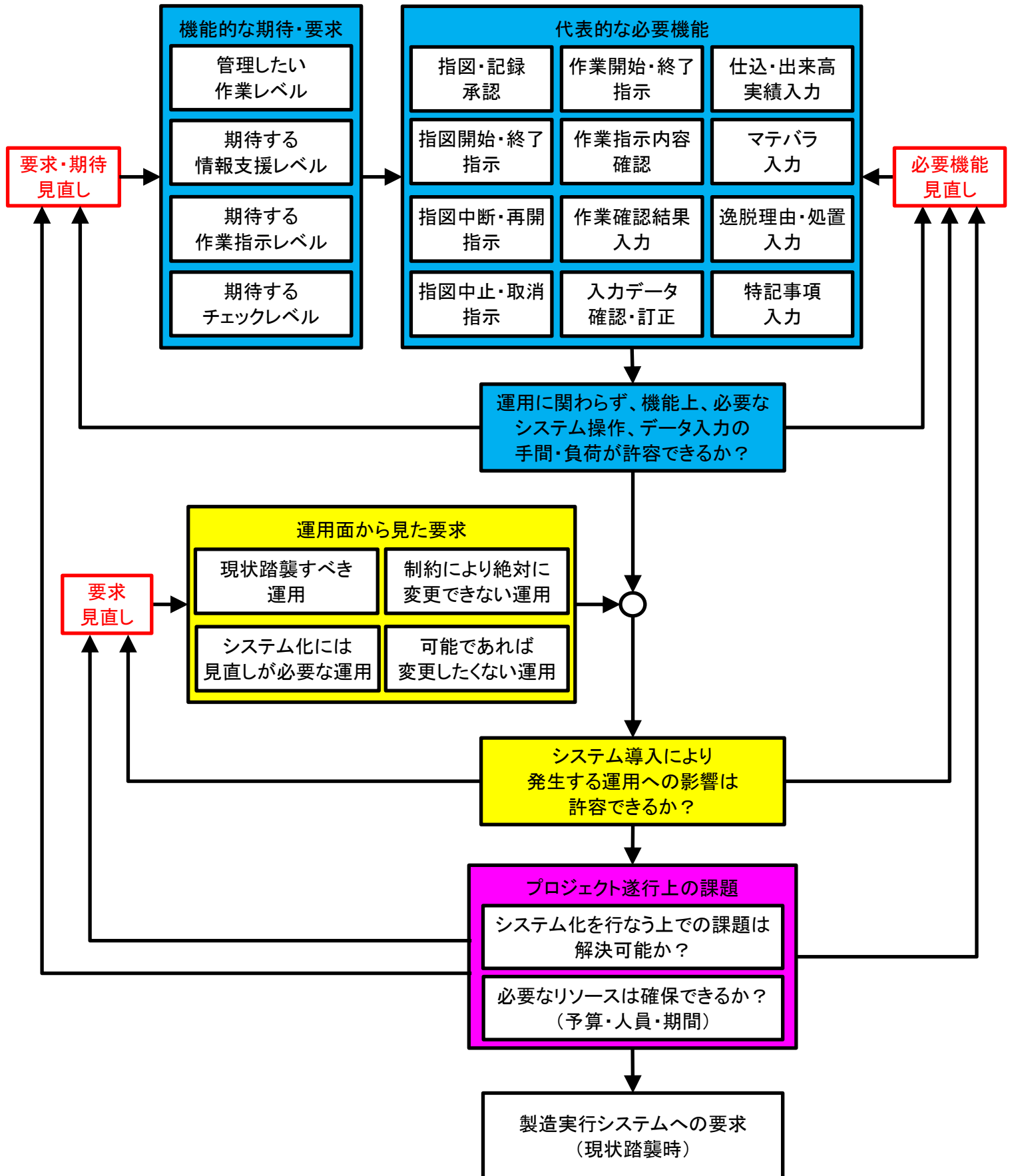
- ・現状の見直し・改善を行わずに、現状運用踏襲を目的のシステム導入。  
(製剤工場で良く見られる製造実行システムの導入方針・目的。)
- ・現状改善が目的のシステム導入。  
(既存システム・運用に多くの問題があるユーザのシステム更新時に見られる導入方針・目的。)

但し、システム導入経験が無いユーザが大規模なシステムを導入する場合、もしくは、システム導入・更新の失敗を繰り返しているユーザは、さらに、全体像を描いた上でのシステム導入・更新を行なうべきと考える。これについては、別途、記述する。



## 製造実行システムの要求検討における現状把握の重要性

システムの要求検討にあたっては、要求機能は勿論ではあるが、製造実行システム開発にはMESパッケージを活用することが多いため、カスタマイズを含めたMES機能が運用面から見た制約をクリアできるか否かがキーポイントであるため、予め、現状をきちんと調査・把握しておくことが重要である。



製造実行システムの導入もしくは導入企画を予定されている場合は、URLを参照下さい。

<https://h3113eng.com/Introduction.pdf>